

第八期多摩市自治推進委員会で検討すること



●R4.2～R4年度「地域協創の制度内容の検討」

- ・多摩市におけるプラットフォームのあり方、しくみ(ゆるやかなつながりをつくり、支える制度(地域担当職員、中間支援、交付金等))
- ・多世代共生型コミュニティの形成に向けたモデルエリアでの取組み(既存組織や制度の活用、デジタル活用、掘り起こし策等)
- ・他自治体の事例調査

●R5年度「地域協創の制度化」

- ・条例・規則等への制度の反映
- ・関連施策との整合
- ・市民への周知・意見照会、必要性の普及等

- 議論▶
- どんな地域社会を目指すか、そのために必要なしくみは？
 - 市民(エリアに囚われない・エリアを基盤とする)にとってのメリットや意義は？
 - 多くの市民が参画・つながるために必要な取組み・プラットフォームとは？
 - 市・市職員・公共施設の役割や制度は？ 関連する機関の役割は？
 - 他自治体での取組みは？
- 実践▶
- モデルエリアでの参画方法・つながりの作り方
 - デジタル活用など新たな手法の試行、既存のしくみの有効活用

制度化に向けた調整
※関連計画等との時間的整合

周知・普及
※意見聴取だけでなく、実践を通して